

世界最高水準の心臓治療を名古屋の地で提供したい

院長

外山 淳治 とやま・じゅんじ

名古屋ハートセンターは患者様本位の優しい医療(安全・低侵襲)を第一に掲げます。心臓病に関する最新情報の発信・啓発・普及にも努め、社会貢献を行う所存です。

主な履歴

1967年名古屋大学大学院医学研究科博士課程修了。98年愛知県立尾張病院院長、2004年豊橋ハートセンター総長を経て同年愛知県病院事業庁初代庁長就任。

主な実績

県立尾張病院を全国有数の循環器センターに再生。豊橋ハートセンター総長時代には民間病院の経営を体験。病院事業庁長時代は県立5病院の高度専門特化を推進。



顧問(聖路加国際病院理事長、名誉院長)

日野原重明 ひのはら・しげあき

外山淳治院長は自らの確固たる信念に基づいて物事を推し進められる研究熱心で挑戦意欲に満ちた「行動力の人」です。これまでに取り組まれた幾多の病院改革は、他施設の運営

にも役立つ有意義な経営改善として実を結んでいます。松原徹夫副院長は循環器内科、米田正始副院長は血管外科の領域で、共に素晴らしい実績を重ねておられる経験豊富な実力医師です。国際的な舞台でのご活躍が多いのも共通点です。名古屋ハートセンターが当地ばかりでなく、わが国の心臓治療の質を高める拠点として大きな成果を挙げられることを願ってやみません。



副院長、循環器内科担当

松原 徹夫 まつばら・てつお

生まれ故郷の名古屋の地で24時間365日、安心した生活をサポートすべく、最高の技術と共に医師本位に偏らない患者様本位の心温まる医療を提供するために生涯を捧げる覚悟です。

主な履歴

1984年東海大学卒業。88年県立岐阜病院循環器科、2001年名古屋共立病院循環器センター・循環器科部長、04年豊橋ハートセンター循環器科部長。

主な実績

心臓カテーテル検査数=20,000例以上、心臓カテーテル治療数=5,000例以上(内ステント3,000例以上)、ロータブレーター1,000例以上。



副院長、心臓血管外科担当

米田 正始 こめだ・まさし

患者様を治すことに人生を賭けた人間たち。だからこそできる真のチームワークと医療安全。胸を張れる治療を地域にお届けし、大学や地域医療との連携にも尽力します。

主な履歴

1981年京都大学卒業。87年トロント大、93年スタンフォード大、96年メルボルン大(主任外科医)、98年京都大教授、2007年豊橋ハートセンタースーパーバイザー。

主な実績

通算症例数=2,450例、冠動脈バイパス手術=1,400例、弁形成術=200例以上、心房細動手術=150例、英語論文=214編、邦文論文=219編。



マスター&スーパーバイザー



鈴木 孝彦
循環器内科



大川 育秀
心臓血管外科



加藤 修
循環器内科



土金 悦夫
循環器内科